

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 高梨乳業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒241-0023 横浜市旭区本宿町5番地	
本票作成	部署名：高梨乳業(株)岡山工場 製造課				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	県内から西日本全域にかけて販売する牛乳、加工乳、乳飲料を製造している。生産量は年間約34000kl、従業員数は85名(6/1)で西日本の拠点工場として位置付けられ、今後も増強を図る予定である。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	高梨乳業(株)岡山工場		倉敷市片島町地藏院地187-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	22年度		～	26年度 (5箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (21年度)			目標年度 (26年度)					
	6,165 t CO <sub>2</sub>			5,856 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (21年度) の排出量					
	①	高梨乳業(株)岡山工場		6,165 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量千kl	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		181 t CO <sub>2</sub> / (千kl)	171 t CO <sub>2</sub> / (千kl)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

目標削減率設定の根拠は全社の目標として原単位当り1%減を目標としている為、又原単位の基準を生産量とした理由は、生産量の増減が使用エネルギー量(CO<sub>2</sub>排出量)に直接関わる為、取り組み結果を算出し易い為。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

全社にて行っているISO14001の取り組みにてエネルギー使用量、CO2排出量の削減を上げている。又、省エネ対策委員会を構成し、CO2削減の為の予算配分などを検討している。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
高梨乳業(株)岡山工場	2007年 蒸気配管に保温を行い、年間A重油使用量約100KL、金額約600万円の削減を行った。 2008年 負荷率の高かった200Vトランスの増強を行い、高効率トランスの導入により、原単位前年比90%達成、電力使用金額年間約200万円の削減を行った。

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
高梨乳業(株)岡山工場	2010年 24時間稼働しているブローポンプの使用量削減を行うと共に、高効率モーター採用の機種に更新することにより、計画にて年間電力使用量220千kw (CO2で約120t)、金額約370万円の削減を実施予定。 2011年以降 ボイラを更新して燃料を重油よりガスに転換し、CO2排出量を年間約240t削減させる。 その他、全社の省エネ対策委員会にて各場所ごとに提案を出し合い、予算に盛り込んで行く予定。

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	有	①神奈川水源の森林保全の為、神奈川県の水源地を守るパートナー制度に賛同し、社員とその家族がボランティアで「やどりき水源林」の清掃活動に参加している。(会社) ②北海道にて地域との共生を心掛け、環境保全活動としてNPO法人「霧多布湿原トラスト」と協同。植樹、植林地の管理・運営を行っている(会社)

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

①製品の廃棄物として発生するコーヒー粕をバイオマスボイラの燃料として引き取ってもらっている。(当工場)